

都市自治体の広報に関する研究会 論点メモ（案）

論点 1 都市自治体における広報の現状と課題

- (1) 都市自治体における住民を取り巻く環境の変化
 - ・生活様式の多様化（一人暮らし世帯の増加等）
 - ・コミュニティの希薄化（自治会加入率の低下等）
 - ・東京圏を中心とした大都市への人口集中
 - ・激甚化、頻発化する災害
 - ・外国人居住者の増加
- (2) 都市自治体が広報を行ううえで抱える課題
 - ・行政による一方的な情報発信からの脱却
 - ・住民との双方向コミュニケーションの実現、住民からの信頼獲得
 - ・広報を行う目的、対象の明確化
 - ・専門知識、経験を持った職員の不足
 - ・多様化する情報発信媒体の運用・管理
 - ・必要な情報を迅速に取得できるための環境整備（ホームページ・アプリ等）
 - ・ウェブアクセシビリティの確保

論点 2 都市自治体が広報に取り組む意義

- (1) 都市自治体の政策実現と住民ニーズの反映
 - ・施策を実現するための各種事業の周知徹底
 - ・住民生活の満足度・幸福度の向上
 - ・安心して過ごすことのできるまちづくり（防災・防犯）
- (2) 内外への都市自治体の魅力発信
 - ・地域への誇りと愛着の醸成
 - ・まちづくりへの住民の積極的な参加
 - ・交流人口の増加による地域経済の活性化

論点 3 都市自治体の広報のあり方に関する検討

- (1) 都市自治体の体制（組織・人材・専門性・役割分担）

- ・広報人材の育成・ノウハウの蓄積
- ・庁内における広報部局と他部局との連携強化
- ・広報部局以外の職員における広報への意識改革
- ・広報に関する方針、戦略の策定
- ・首長のリーダーシップ、情報発信力
- ・外部人材の活用

(2) 都市自治体の広報の評価

- ・効果的な成果指標の設定・妥当性の検証
- ・効果測定を重視した継続的な事業運営
- ・全庁的な事業評価方針（広報戦略等）の策定

※「論点メモ」はあくまで事務局案となります。

※今後の研究会の展開次第で論点が変わる可能性があります。